

第3回審議会における防災機能を備えた公園に関する意見概要

意見内容（会議概要より抜粋）	
想定する災害について	
1	防災という場合に私達が <u>どういう災害を想定するかが重要</u> だと思う。（菅議長）
2	都市としての危機管理を考えたときに、 <u>青森の場合は原発など色々なことも視野に含めて</u> はと思う。（木村委員）
3	他に候補地が無いということであれば、この <u>操車場跡地も（原子力災害の避難者の受け入れの）一つの候補地になるのではないかと</u> 思う。（後藤委員）
4	<u>原子力災害は、別なところで青森市ないし県が考えるべき</u> であって、我々市民はもっと様々な意味でここを活用する場所として求めているのではないかと思っているので、意識は大事だが、 <u>深く議論することではない</u> 。（野澤委員）
5	<u>青森の場合、絶対これを前提にしなければならないという災害も想定されない</u> 、あえて言えば <u>雪害と地震との複合的なことが大きい、原子力を想定してしまうと話ほどつもな</u> く大きくなってしまふ。（菅議長）
6	青森の気候などを考えたときに、 <u>冬場の雪の量とその時期の大きな地震があった時に雪に耐えられるだけの構造体の住宅がどのくらいあるのか</u> 。そういった時に <u>被災された方々が避難をする場所は十分考えなければいけない</u> のではないかとと思う。（木村委員）
防災機能について	
7	火事にあった人達がどこにも行くところがない時、 <u>生活できるような宿泊施設を備えた防災施設が必要</u> と考えた。（種市委員）
8	<u>仮設住宅を作るような場所を確保しておいて欲しい</u> ということを行っている。（種市委員）
9	<u>防災の意識を高めていく、防災のセンターになるようなものがあったら良いのか</u> と思う。（櫻田委員）
10	その <u>（大きな体育館の）地下にでも備蓄できるものというの</u> は置けると思う。（佐藤委員）
11	<u>防災という観点から、建物のない空間をきちんと確保しておく必要がある</u> 。（櫻田委員）
12	<u>想定される防災に一番対処できるのは広い空間であるという、スペースの確保が第一だ</u> と思っている。（野澤委員）
13	<u>多目的な防災機能を持つ公園が必要であるかを考えた時、そこまでの機能が必要とは考</u> えてはいない。（野澤委員）
14	最大限ではなく、 <u>この地域において地区において必要とされる防災機能があれば良いの</u> ではないか。（野澤委員）
15	<u>ある程度の空間とある程度の備蓄といったものはもちろん必要</u> だと思うが、 <u>そう大々的なものは必要ない</u> のではないかと。（菅議長）
16	今の操車場跡地の近辺の方、何も遠くの方が全てあそこに行くということではなく、 <u>近辺の方が避難するにはどれくらいの面積があって、どれくらいの何がなければならないか</u> というのを話して決めた方が早いと思う。（須藤委員）

## 第3回審議会における防災機能を備えた公園に関する意見概要

意見内容（会議概要より抜粋）	
防災機能について	
17	<u>この操車場跡地を広域避難所としてこれからどうするか、防災の関係だけで考えた場合にどのようなものを作るか</u> という話であれば、 <u>他の施設、他の避難所と同等か同等に近いものにすべきである。</u> （三浦委員）
18	<u>現状として（避難所）で対応がどこまででき、どこができなくて、何をここに求めなければならないのか</u> というのを少し整理する必要がある。（猪原委員）
19	ここにある中央の土地は非常に貴重な空間だから、そこに <u>他の既存の施設に手を入れれば受け入れられるようなものを、あえてそこに新しく作るというのはもったいない</u> 気がする。（猪原委員）
20	ここの防災機能を考える上では、 <u>（合浦公園など）他の施設をどの程度拡充するのかということ</u> を前提にして何か考える方が <u>良い</u> のではないのか。（猪原委員）
公園機能について	
21	<u>公園という意味では交流の場や安らぎの場であることをもちろん大切にしながらの大きな空間</u> である。（櫻田委員）
22	<u>防災機能は公園としての機能の一つであり、大きな前提として空間を確保する、緑を確保する</u> ということである。（櫻田委員）
その他（公共的な施設との関連）	
23	公園という機能、避難所としての機能が重要ではあるが、 <u>後のテーマである「公共利用の観点」で、実際にどのくらいの規模が必要なのか</u> ということは、実際に計画をする際には十分に考慮しないといけない。（猪原委員）
24	青森の場合、 <u>消防本部は狭そうだが、（長岡市の防災センターのように操車場跡地に）移す必要はない</u> のではないかと。（菅議長）
25	文化面でいうと <u>あそこ（操車場跡地）に、あのようなもの（市民美術展示館）に変わるものを市の中心のあたりに、</u> と思ったりしている。（櫻田委員）
26	<u>普段は皆が使えるような、イベントなり、運動なりできるようなサンドームのような大きな体育館</u> というのが青森にはやはりもう一個必要かと思っている。（佐藤委員）
その他（交通結節点との関連）	
27	<u>目の前に線路があり、海から波が押し寄せてくると逃げる場所がなくなるので、防災も含めて、あの鉄道を何とかならないか</u> と思う。（森内委員）
その他（他の土地利用との関連）	
28	<u>残りのテーマの議論を踏まえた上で、どのくらいの場所が確保できるのか</u> 考える必要がある。（野澤委員）
29	どのような機能が必要かという、 <u>せっかく広い地域があっても活動拠点として足が運びにくいような周辺の整備、道路等がよくなければそこは孤立した空間であり、防災の拠点にならない</u> と思う。（野澤委員）
30	ただ広い公園があればいいと言っているわけではなく、あくまでも <u>駅を含めたいいわゆる交流の拠点、そして様々な施設、何があそこにあれば良いのか</u> という議論をした上で、 <u>残ったものは公園として、防災機能を含めた公園</u> という意味で、 <u>広く残せば良い</u> ということである。（野澤委員）